



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2021.4.3 Vol. **168**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



「未来創造館」

祝 入学

令和3年度 入学式 学長式辞	1
令和3年度 入学式 理事長祝辞	2
令和3年度 入学式 福山市長祝辞	3
令和3年度 入学式 福山商工会議所会頭祝辞	4
「未来創造館」始動!	5
学修に取り組む前に	6
キャンパスライフへの指針	8
行事予定	11

入学おめでとう
ございます!



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

ともに育とう、 “未来創造人”たちよ！

令和3年度 入学式 学長式辞



学長 大塚 豊

三蔵の丘に春がまた巡って来ました。「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」と言いますが、人の世がコロナ禍で騒然としていても、桜は今年もこのキャンパスに花を咲かせ、新たな仲間を迎えてくれました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

1975年に2学部3学科で出発した福山大学は、今や5学部14学科、大学院4研究科11専攻を擁し、人文社会、理工、医療系の揃った広島県東部で唯一の私立総合大学に成長しました。シンボリックの新校舎「未来創造館」も完成し、揺るぎなく前進しています。卒業生は既に3万8000人を数え、備後はもちろん、各地で社会を支え、あるいは地域や組織の指導的、中核的立場にある人として活躍しています。

皆さん、全国の約780もの大学の中から、よくぞ我が福山大学を選んでくださいました。そのご期待に何としましてお応えしたい、何年か先に、やはり福山大学を選んで良かったと言っていたようにしなくてはと、私を含め教職員一同は今、身の引き締まる思いでいます。

福山大学は開学から半世紀近くが経ったのですが、皆さんが門をくぐった本学も含め、大学とは一体どういう所なのでしょう。大学という組織は今から数百年前、12～13世紀の中世ヨーロッパで誕生しました。もっと古く紀元前の古代インドや中国、あるいはギリシャに大学の起源を求める説もあります。いずれにせよ、そこに集う者が共同して学び、切磋琢磨しつつ真理を探究していく場に他なりません。気の遠くなるほど長い歴史を誇る大学という「知の共同体」に、新入生の皆さんは仲間入りしたのです。その意義を噛みしめてみましょう。

皆さんは各学部・学科に所属して、それぞれの専門知識や技能を身につけていくことになります。社会へ出る前の助走期間の数年は長いようですが、きっと瞬間に過ぎていくでしょう。かつて中国の哲人は「少年老い易く学成り難し、一瞬の光陰軽んずべからず」と説きました。怠け心は禁物です。また、大学は専門の学問内容とともに、もっと幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育む場です。そのためのカリキュラムが組まれています。「教養ある人」となるための学びです。教養教育科目と呼ばれる一群の科目さえあります。しかし、それを履修すれば教養が身につくものではなく、更に言えば、大学だけで教養に至る学びが完成するとも言えないでしょう。しかし、教養の核となるものを最も効果的に形成する場が大学であることは確かです。その際、何をどういう組み合わせで学ぶかは、皆さんの一人ひとりに委ねられます。

自らの興味関心に沿って自由に学ぶ「新しい学び」がこれから始まるのです。もちろん、自由にとっても特定の学部・学科に所属するのですから、学科によって必ず履修すべき科目やその時間帯があります。しかし、多少の違いはあっても、選択の幅が格段に広がります。その一方で、自由を行使するためには責任を担うことを求められるというのは言うまでもありません。

皆さんの中に、大学とは受験勉強が終わり、社会に出るまでのモラトリアム、つまり、社会で一定の役割を引き受けざるを得なくなるまでの猶予期間を、ノンビリ楽しく過ごす所と思っている人はいませんか？本当にそうでしょうか？誰かが敷いたレールの上を走るのではなく、自ら探求する「本当の学び」が始まるのです。それは、テレビのバラエティ番組のような面白さではないかも知れません。時に辛さを伴うこともあるでしょう。でも、真に「教養ある人」、精神の自由を身につけた人となれる楽しみが、学びの先にあるのです。

古来、多くの碩学は、専門の枠内に留まらず、一人の人間として生き方を問われるとき、物事を適切に判断する力そのもの、全体を見渡し全体の利益をはかる眼力を持つことを「教養」と呼びました。現実社会では、高度科学技術や医薬の分野などでも専門主義では片付かない問題が山積しています。ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータ等の新技術を取り入れてイノベーションを創出し、多くの課題を解決する社会として、「Society 5.0」が構想されています。そうした目まぐるしく変化する世界の状況、そして虚偽の情報も含めて、膨大な情報が飛び交う時代に求められる「教養」とは何でしょう。①社会と関わりつつ、自己を位置づけてコントロールする力、②自国と他国、あるいはもっと広く、異なる性・世代・言語・宗教・価値観・生き方・習慣など「自分と異なる他者」を深く理解し尊重する力、③自然や物の成り立ちを理解し、論理的に対処し、科学技術の功罪両面を正確に理解する力などを持つことと表現できるでしょう。

福山大学は、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行います。建学の精神に盛り込まれたこの考え方は、コロナ禍の下でも、また、先ほど述べた「Society 5.0」の時代が訪れようとも、決してその輝きを失うことはないとは私は確信します。建学の精神をふまえ、その上で「地域を想い、地域に愛され、地域から国際社会に繋がる“未来創造人”の育成」を実践します。これから数年間、皆さんと共に学び、仲間として、福山大学の歴史の新しい一頁を開けることを心から喜び、私からのお祝いの言葉といたします。

令和3年4月3日

大学生になった 皆さんへ

令和3年度 入学式 理事長祝辞



学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の令和3年度福山大学入学式にあたりご挨拶申し上げます。入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちは予測不可能な課題に翻弄されていますが、皆さんは、既に高校在学時から、これまで経験したことのない日常の変化や様々な困難を経験してきたと思います。しかし、皆さんのためめぬ努力に加え、ご家族等からの物心両面のご支援並びに高等学校の先生方のご指導により、本日晴れて大学生となりました。皆さんのこれまでの努力に心から敬意を表します。なお、これから始まる大学生活においても、コロナ禍による様々な困難に直面せざるを得ない状況が継続するものと思いますが、学友との絆を一日でも早く深められ、困難な課題の解決に果敢に挑戦していただきたいと思います。

一方、新型コロナウイルス感染症が発生する前から、日本国内においては人口減少による生産年齢人口の減少問題・地域間格差の拡大、高齢化の進展による人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化への対応や気候変動によってもたらされる予想外の災害の発生など様々な問題が山積しています。さらに、最近ではAIや次世代通信規格5Gの発達、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の進展によって、今後の社会や職業の姿が予測できないほど大きく変化していくと言われています。このような状況が続く中、未来社会は「予測不可能な社会」と言われていますが、これからの皆さんは、自らの手でこれらの諸問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの問題の解決につなげ、持続可能な社会を創造していくことが求められています。そのため、福山大学では大塚新学長のリーダーシップの下に全教職員が一丸となって、松田前学長から継承した「未来創造人」を育成する教育に全力を挙げて取り組んでおられます。そして、そのアクティブな学びの拠点となるのは、まさに今年度新設された「未来創造館」です。この11階建ての学び舎は、4階から10階までが薬学部棟として使用されますが、1・2・3階そして瀬戸内海を望む最上階の11階は全学共用施設として、全学部の学生の皆さんが集い、アクティブ・ラーニングなどの様々な学修活動に使用されます。皆さんは、先生方のご指導

の下、未来創造館を是非活用して各自の学びを深め、卒業後の未来社会において持続可能な社会の実現のために、多様性を秘めた人材として活躍できる力を養っていただければと思います。

ところで、大学を卒業して社会に出ると、私たちは人生の歩みが異なり、すべての人がいかなる場面にでも利用できるような画一的な「知識」などありません。それぞれが自分の力で情報を収集し、判断していく「知恵」が必要です。すなわち「知恵」は「知識」のように、ある定まった情報を「知っている」ことではなく、いくつかの情報から自分なりの「知識」や「考え」を導くことができる力です。その力をもって、また別の新たな情報に遭遇したとき、自分で知識を改変し、自身の能力で人生を切り開いていただきたいと考えています。皆さんがこれから学ぶ大学は、その知恵を身に付けるための修練の場であり、アクティブ・ラーニングはそのための最良の手段であると言えるでしょう。本法人は、引き続き教育・研究活動への支援と修学環境の整備・充実に努め、皆さんの学びに最大限の支援を行っていく所存ですので、是非アクティブな態度で様々な学びに挑戦してください。

新入生の皆さん、これから長いようで短い4年間あるいは6年間の学業に勤しみ、卒業の暁には実社会に羽ばたいていくことになります。大学生となった今、自らを奮い立たせ、福山大学生としての誇りと自覚を持って充実した大学生活を送られることを期待しています。これからの未来を創造していく皆さんへの激励をもって、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和3年4月3日



新設された「未来創造館」披露会テープカットの様子

令和3年度 入学式 福山市長祝辞

本日、晴れて福山大学に入学されました新入生の皆さん、誠におめでとうございます。ここ福山の地で、大学生活の新たな一步を踏み出す皆さんを、市民と共に心より歓迎いたします。

また、今日まで新入生の皆さんを励まし、支えてこられた御家族・保護者の皆様には、お喜びもひとしおのことと、重ねてお祝いを申し上げます。

備後地域で唯一の総合大学である福山大学におかれましては、本市と2013年(平成25年)に包括連携協定を締結し、地域振興や人材育成などに取り組んでされました。そして、これまで多様な人材を輩出し、地域の社会経済を支え、その発展に大きく貢献してされましたことに、深く感謝を申し上げます。

さて、これからの社会は、少子高齢化がさらに進行するとともに、コロナ禍を受け、人々の暮らしや働き方が大きく変化していきます。とりわけ、Society 5.0の実現に向け、AIやIoT、ビッグデータなどのデジタル技術の実用化が加速することでしょう。

皆さんは、こうした社会の変化にひるまず、柔軟かつ的確に対応できる“力”を、ここ福山大学でしっかりと学び、身に着けてください。そして、前例に捉われることなく、未来を切り拓く原動力にしていきたいと思えます。先生方や学友など、多くの出会いを大切にしながら、大学生活の中で専門的な知識や様々な経験を得ることで、コロナ時代の新たな都市づくりをリードできる人材に成長されることを期待しています。自らの可能性を信じ、常に挑戦し続ける気持ちを忘れず、夢と希望に満ちた大学生活を送ってください。皆さんにとって、実り多き福山での生活となることを心より祈念いたします。

本市においては、4月から新たな都市づくりの指針となる「福山みらい創造ビジョン」がスタートしました。大都市圏から地方都市へ人の流れが強まる中、多様なライフスタイルが柔軟に選択できる新分散型社会の下で、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、「都市魅力の創造」、「人口減少対策の強化」とその基盤となる「デジタル化の推進」に注力し、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市をめざしてまいります。

最後に、福山大学の益々の御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



令和3年4月3日
福山市長 枝廣 直幹

令和3年度 入学式 福山商工会議所会頭祝辞

新入生の皆さまご入学誠にありがとうございます。これまで大学進学に向けて一生懸命に取り組んでこられたと思いますが、そのご努力に対して敬意を表するとともに、皆さまを支えてこられたご家族や関係するすべての皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

福山大学におかれましては、昭和50年の開学以来、常に時代のニーズに応え、確かな人間力を身につけることができる全学的教育システムを構築され、新たな時代を担う優秀な人材を数多く産業界に送り出し、地域経済をしっかりと支えて頂いておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、社会経済活動に多大な影響が発生し、残念ながら終息は見通せない状況にあります。我が国においても第2波、第3波と感染拡大の波が押し寄せるなか、経済活動のみならず、スポーツや音楽など、人々の心に楽しさや喜び、感動を届け、人生を豊かにするイベントの開催も制約されるなど、市民生活に大きな影を落としていることに、心を痛めております。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた社会の構築が待たれるところですが、新入生の皆様には、学業や日常生活のあらゆる場面で創意工夫を取り入れ、新しい学生像を築かれることを期待しております。

企業においても、経済が急激に減速するなか、生産性向上に向けたデジタル化の遅れなどの経営課題が浮き彫りとなり、AIやIoTの活用や5Gの実用化などの技術革新への対応に加え、持続可能な開発目標(SDGs)の達成など、取り巻く環境は激変のなかにあり、こうした状況を乗り越えるためにも、「創造性」と「主体性」を備えた人材が社会に送り出され、即戦力として活躍することを切に願っております。

新入生の皆さまが、意欲と勇気をもって学業と実践に励まれ、先生や諸先輩方、同級生等との交流を大切にすることで心豊かな大学の生活を送られ、併せて、幅広い教養と調和のとれた人間性の涵養に努められることをご期待申し上げます。

終わりに、貴大学の今後ますますのご発展と、皆さま方一人ひとりが喜びと実り多い大学生活を送られることを心から祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



令和3年4月3日
福山商工会議所 会頭 林 克士

「未来創造館」始動！



昨年12月に『未来創造館』が竣工し、4月から本格始動しました。地域を想い、地域に愛され、地域から国際社会に繋がる“未来創造人”を育てる福山大学の新たな知の拠点である『未来創造館』について、紹介します。

まず、未来創造館の外構に「CROSSING GARDEN」があります。CROSSING GARDENは、「CROSS」(C：CREATE 未来を創造する，R：RELAX 居心地の良い空間を提供する，O：OPEN 誰にも開放する，S：SHARE 知恵，学びを共有する，S：SPREAD 価値を広く伝える)をコンセプトにスペースデザインを行った開放的な空間で、未来に繋がる新たな学びの場として活躍していきます。

次に、館内の紹介です。1階、2階のラーニング・コモンズは、吹き抜けにより施設全体の活動が体感できる設計です。1階は、ラーニング・コモンズとして学内外の情報を提供するディスプレイ・コーナーやグループワークでも利用できるオープン・コミュニケーション・コーナー、さらに無線型画面共有システムを備えたインフォダイナーなどがあります。



インフォダイナー

2階と3階は、アクティブ・ラーニングに適したエリアです。また、2階の大講義室は、様々な授業形態に柔軟に対応できる造りとなっています。講義室前には広々とした交流スペースがあり、窓際には自習スペースも設けられています。晴れの日には、ここで景色を楽しみながら勉学



大講義室

に励むもよし、雨の日でもデスクライトを完備しており、落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しむもよしの落ち着いた空間です。

4階から10階までは、薬学部の実験室や研究室が入り、開かれた実験室(オープンラボ)として利用できます。オープンラボは壁の少ない構造で、オープンな交流が可能です。



オープンラボ

す。教員同士あるいは教員と学生など、自由なコミュニケーションの中から新たな発見や可能性が生まれるこの空間は、まさに『未来創造館』の名前がぴったりです。

そして、ついに最上階の11階です。瀬戸内海が臨める交流スペースのクロッシングカフェがあります。また、備後発祥の伝統技法で織られた備後表を使った茶室『育志菴(いくしあん)』などがありますが、部屋に入った瞬間、畳のいい香りがします。備後表は耐久性に優れ、時間が経つにつれて黄金色に輝くそうで、この変化も楽しみの一つです。



茶室『育志菴(いくしあん)』

以上、館内の紹介でした。なお、未来創造館にはまだまだ紹介しきれていない魅力的な設備が整っています。続きは是非、『未来創造館』へ足を運び、ご自身の目で確かめてみてください。

総務部 企画・文書課

学修に取り組む前に

夢に向かって

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、誠におめでとうございます。在学生一同、心よりお祝い申し上げます。

大学進学にあたって新たな人間関係、学習面、生活面といった様々なことに、楽しみや不安を抱えている人が多いと思います。また、大学生活では小中高とは違い、今まで以上に自ら学ぶ姿勢が求められます。福山大学は5学部14学科の私立総合大学であり、多種多様な分野での学びに挑戦できる大学です。卒業までにいろいろな分野にわたって知識や理解を深め、資格を取得し、卒業後は即戦力になれるよう4年間又は6年間、頑張りましょう。

最後に、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、生活面や学習面で何らかの影響があると考えられます。いろいろと制限された中でのスタートになると思いますが、時代の変化を常に意識し、ともに乗り越えていきましょう。

校友会会長 経済学部 税務会計学科 高森 伶也



逆境に負けない大学生活



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生一同、心より歓迎申し上げます。

今年度ご入学の皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、非常に難しい環境で受験勉強に取り組まれたと思います。私たち大学生も大きな影響を受け、思いどおりに大学生活を送ることができませんでした。

しかし、その中で新たにZoom等を活用したオンラインでの授業を受け、ゼミではビジネスプランのプレゼンを討議しました。このおかげで、これからの時代に必須となるスキルを身につけることができました。逆境に負けることなく、未来の自分をイメージしながら生活していきましょう。

今年度、私は高等学校公民科の教員免許を取得する予定で、教育実習と並行して就職活動も控えています。皆さんも逆境に負けない大学生活を送られるよう頑張ってください。

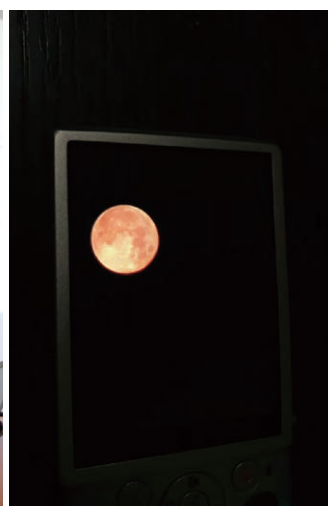
経済学部 経済学科 山崎 優

自分だけの表現を創造する

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で学ぶにあたり、皆さんにお伝えしたいのは「疑問を持つこと」の重要性です。そのために、まずは多くの作品と出会ってください。しかし、漫然と見てはいけません。なぜ、どのようにして、この表現は成立しているのかと疑問を持つ必要があります。そうした疑問が、皆さんの創造の可能性を広げます。1年前には想像もしていませんでしたが、私は今、ミュージックビデオを制作しています。メディア・映像学科に進学して生まれた疑問と向き合うために始めた試みで、撮影も編集も難しく、頭を抱える毎日です。しかし、このような主体性が次の新しい挑戦に繋がり、小さな疑問が皆さんの学びを豊かにします。

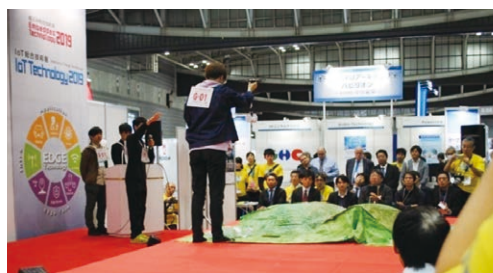
ようこそ、福山大学へ！

人間文化学部 メディア・映像学科 久保 艶香



学修に取り組む前に

考える前にまず行動，挑戦，経験を大切に



新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に期待や不安で胸がいっぱいのことと思います。そんな皆さんに「考える前にまず行動，挑戦，経験を大切に」ということを伝えたいと思います。

大学生活において座学などによる単位取得は欠かせませんが，様々な活動で得た経験をとおして身につく力は，自分の成長への大きな糧になります。私たちは，初年度の授業で「ドローンの応用」について提案し，その勢いのまま行動した結果，気づけば全国大会や学会発表へと繋がっていました。その中で様々な経験をし，多くの事を学びました。行動する前に先の事を考えると，失敗することへの恐れや不安な気持ちから行動できず，チャンスを逃してしまいます。行動を起こすことでしか得られない経験や，心境の変化は必ずあります。様々なことに挑戦し，皆さんが楽しく実りある大学生活を送られることを願っています。

工学部 スマートシステム学科 山本 真史・行平 将望

「やりたい！」ことにチャレンジしよう

新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい生活に期待と不安を抱えていることでしょう。大学生活では，高校の時よりも自由な時間が増えます。その時間を有効に活用することで，充実した大学生活を送ることができることをお伝えします。

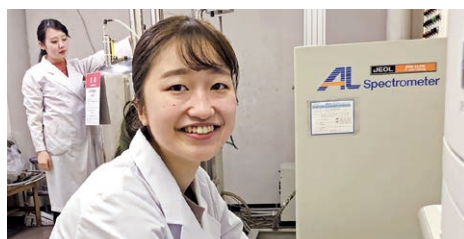
私はユースホステル部に所属しており，仲間と一緒に子ども達を楽しませるキャンプなどを企画しています。子ども達を預かる責任はありますが，活動をより楽しく良いものにするために工夫を凝らしたり，アイデアを出したりするところに，やり甲斐を感じています。

皆さんも「やりたい！」と思うことがあれば，どんどんチャレンジしてみてください。きっと自分を成長させてくれると思います。大学生になったからこそ，主体性を持って何かに取り組んでみてください。

生命工学部 生命栄養科学科 田邊 志歩



自分が成長できる大学生活を



新入生の皆さん，ご入学おめでとうございます。大学生活に期待や不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか。6年間，皆さんが少しでも自分の成長を感じられる大学生活を送ることができるよう，様々なことに挑戦してみてください。

大学では勉強はもちろん，アルバイトやサークルに入ることによっていろいろな学部の友達や縦の繋がりができ，これまで以上に活動の幅が広がります。また，自由な時間も増え，今まではできなかった様々なことに挑戦するチャンスも生まれます。是非，そのチャンスを活かしてほしいと思います。

私は現在5年生で，今は病院・薬局実務実習を終え，卒業研究に取り組んでいます。4月からは，就職活動や最終目標である薬剤師国家試験の合格を目指して勉強が始まりますが，自分自身の成長を感じられる4年間でした。

皆さんも充実した有意義な大学生活を送ってください。応援しています。

薬学部 薬学科 町支 七瀬

キャンパスライフへの指針

大学教育センターは、皆さんの「学び」をサポートします

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。皆さんはこれから4年間あるいは6年間、5学部14学科のいずれかに所属して、多くの事身につけていくことになります。

大きな社会変動の中で、中央教育審議会の答申では、目標の実現のために主体的に行動していく力を教養と定義しており、次の5点、①社会とかかわりつつ、自己を位置付け律していく力、自ら秩序を作り出していく力②自分と異なる性、世代、国籍、伝統、文化、歴史、宗教など理解し、互いに尊重し合う資質・態度③科学技術や情報化の進展に対応し、論理的に対処する能力、功罪両面についての理解力や判断力④「読み、書き、考えること」の礎となる国語力⑤身体感覚として身に付けられる「修養的教養」、を重要視しています。これらのことを総合的に身につけていくことが「教養のある人」であり、大学教育の究極の目標であると思います。

特定の分野に限られた専門知識・技能を学ぶ専門学校と違って、大学は学部や学科ごとの専門の学問内容を学修することに加えて、もっと幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育む場なのです。人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行い、「地域を愛する未来創造人の育成」を使命とする福山大学では、それにふさわしい教育の提供に努めています。

大学教育センターは、全学的な視点に立って教育改革を進め、本学の教育の向上を図ります。様々な部門から構成されていますが、皆さんと直接関わるのは、全学共通教育部門と学修支援部門です。皆さんが充実したキャンパスライフを送れるように、「学修」面の取り組みをできる限りサポートしていきます。

全学共通教育部門では、共通基礎科目や教養教育科目、キャリア教育科目を提供します。共通基礎科目では、「読み、書き、考える」ことの礎となる国語力、外国語力や

数理・データサイエンス・AI教育の基礎を身につけるように努力してください。また、教養教育科目群では、「自然と化学」「社会構造と生活」「歴史と文化」「思索と創造」「芸術と健康スポーツ」「地域学」の各領域を準備していますので、興味を持てそうな科目を選んでください。また、昨年度から「地域学」の領域で開講した「ドローンで撮る地域の魅力」では多くの学生が受講し、約20名が3級の飛行資格を取得しています。もちろん、教養教育科目を履修すればすぐに教養が身につくわけではありませんし、大学だけで教養に至る学びが完成するものでもないでしょうが、興味を持って教養を身につける努力をしてほしいと思います。キャリア教育科目では、インターンシップなどを開講し、事前にSGDを利用した学習を、事後にインターンシップでの学修成果を学外の方々に発表する学外発表会を実施しています。さらに、大学教育センターは共通教育の充実も担っています。その一環として、共通教育科目に対する皆さんのニーズに応えるため、「共通教育アンケート」の実施や通称「フクトーク」という学生参加による企画提案型の意見交換会を開催しています。

学修支援部門では、学修支援相談室を設けています。ここでは、学び方の相談から具体的な問題の解決法までを専任教員が相談に乗ります。昨年度はコロナ禍の中で、本学でも一部の特別な科目を除く通常授業は学修支援システム「Cerezo(セレッソ)」等を用いたICT利用の遠隔授業で対応してきました。それにより、学習方法に変化が見られ、皆さんの予習・復習等の時間が増え、以前より効果的に学修成果が得られているところもあります。

学生の皆さんが、大学教育センターの施設・スタッフ・機能をフルに活用して、学ぶ喜びを感じながら「教養ある人」へ成長していくことを願っています。

大学教育センター長 鶴田 泰人



インターンシップの学外発表会



フクトークの様子

キャンパスライフへの指針

コロナに負けず、モチベーションを高く保って学びに取り組みましょう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの4年間あるいは6年間の大学生活には、社会で活躍するために必要な力を育む様々な機会があります。積極的にそれらの機会を掴み、学んでください。

さて、コロナ禍の中で、本学では昨年度から対面授業と遠隔授業を併用し、教員と学生がともに頑張って教育・学修を継続してきました。このような状況下で学修成果をあげ、希望する将来の進路で活躍する力を身につけるためには、モチベーションを高く保って学修を行うことが欠かせません。所属する学科の4年間・6年間の学修の道筋を示すカリキュラムマップで卒業時に身につけているべき資質(大目標)や各年次で身につけておくべき資質(中目標)を把握しておくとともに、履修する各

科目のシラバスに書かれている学修の到達目標(小目標)をよく読み、目標を明確にして学修に取り組むようにしてください。

また、本学ではポータルサイト「ゼルコバ」を通じて皆さんの学修に関わる様々な情報を発信しています。さらに、学修支援システム「セレッソ」では遠隔授業を含む学修活動全般の支援を行っています。授業内容に関する質問はオフィスアワーを利用して担当教員に、また学修全般についての質問や悩みなどはクラス担任や学修支援相談室の担当教員に気軽に相談してください。

新入生の皆さんがこのような学びの仕組みを活用し、これからの大学生活を積極的かつ有意義に過ごされることを期待しています。

教務委員長 満谷 淳



遠隔授業の画面の一例



受講方法選択型授業の風景

新たな生活を充実したものにするために

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生という新たなステージを迎えて大きな希望を抱きながら、環境が大きく変化することに不安を感じているかもしれません。特に、新型コロナウイルス感染症は大学生活にも大きな影響を与えています。感染対策はもちろんのこと、健康診断をきちんと受診するなど、健康管理を怠らないようにしましょう。健康面に不安を感じたら保健管理センターに相談してください。

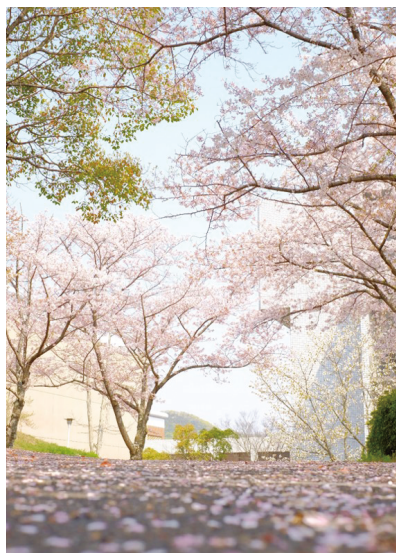
さて、大学生活は自由度が高い一方で、大人としての責任も問われます。挨拶や学内美化といったマナーや、通学時の交通ルールなどの規則をしっかり守りましょう。それから、学生証は皆さんの身分を示すものです。定期試験時や各種証明書の発行などの際にも必要になりますので、常に携帯しましょう。また、大学からの連絡は主にゼルコバで行われます。重要な連絡を見落とさないよう、毎日チェックする習慣を身につけてください。

もし、大学生活に関して困ったことがあれば、遠慮せずにクラス担任やゼミ担任に相談しましょう。必ず力になってくれます。学生便覧にも大学生活に必要な事項が記載されていますので、大切に保管して活用してください。

そして、サークル活動にもチャレンジしましょう。新型コロナウイルス感染症の影響も心配でしょうが、学部・学科を超えて築かれた人間関係は皆さんにとって大きな財産となるでしょう。

福山大学を卒業する時に良い思い出となるよう、充実したキャンパスライフを送ってください。

学生委員長 鶴崎 健一



キャンパスライフへの指針

就職活動と支援体制

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学では、卒業・修了予定の学生の皆さんに様々な就職支援を行っています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症により学生が大学に立ち入れない時期があり、学習面だけでなく生活や就職活動にも大きな影響を与えました。

コミュニケーションの中心がオンラインに変わっていき、当初予定していた対面による説明会は軒並み中止となりました。学生は、この先どのような活動を行えばよいか、とても不安な日々であったと思います。

自宅待機を余儀なくされ、遠方へ出かけるインターンシップの自粛や企業訪問を自粛することなどの制約の中、本学では対面での就職支援が必要と考え、敢えて学校法人福山大学社会連携推進センターで予約制の就職相談を実施しました。セミナー等はWebによる支援に切り替え、順調に実施しました。

このような状況ではありましたが、学生の頑張りと大学の支援により、就職状況は良好といえます。

また、就職委員会では、就職課と協力して就職相談・履歴書の書き方指導・個人面接・集団面接・グループディスカッション指導などを行っており、学生ポータルシステム「ゼルコバ」を用いたWeb就職システムを導入して、学生一人一人の就職活動の状況や面談記録などの情報も把握しています。さらに、1級キャリア・コンサルティング技能士の資格を有する職員による就職活動支援に加えて、ハローワークから派遣されるジョブサポーターの就職活動相談による支援体制も整っています。本学独自で開催している業界説明会や合同

企業説明会も年に数回行っており、年間を通じて1,000社を超える規模の企業に参加をいただいています。

社会人として身につけておく必要があるものとして、Webによるセミナー、身だしなみ講座や女子学生のためのメイクアップ講座なども開催しています。

また、同窓会の協力により、卒業生による業界説明会も実施しています。さらに、学部・学科単位での業界説明会も実施しており、仕事の内容ややり甲斐など貴重な情報を得る機会を設けており、学生にとって大変有意義な説明会となっています。1年生の皆さんも参加できますので、積極的な参加を期待しています。

就職委員長 藤原 美樹



大学会館ホールにおいて、企業説明



大学会館ロビーにおいて、ブース毎に学生との面談

社会に飛び込み真の学びに気づこう ～インターンシップへの誘い～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、在学生の皆さんは新たな志を持って新年度を迎えられていることと期待しています。

新入生の皆さんにとってはまだ縁遠い感じがするかもしれませんが、通常の授業や日常の交流を通じて学生が抱く将来に対する考えや想いを伺い知る機会がしばしばあります。加えて、急激に変化する社会に対する不透明感に不安を感じている方も少なくありません。特に、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響も加わり、更に不安を煽るニュースを目にすることが多くありました。

一方で、「自分に合った仕事を見つけたい」「働く目的を明確にしたい」「仕事の現場を肌で感じたい」といった強い思いを持ち、自分のキャリアを真剣に考えている学生も多いです。そこで、新型コロナウイルス

感染症の影響により全国的にインターンシップの開催を見送った大学も多い中、昨年度はオンラインを活用したインターンシップへの支援などの新たな挑戦も行いました。その結果、多くの学生がインターンシップに挑戦し、これから自分がすべき真の学びが何であるかを体得してきたのです。

インターンシップで変わるのです。インパクトのある体験を「ストーリーとして記憶」し、これを大学生活のように余裕がある時に繰り返してみてください。この積み重ねが追い込まれた時の咄嗟の判断・行動として現れるのだと思います。

何が起きてもおかしくない世の中です。少々のことでへこたれないように、強かに骨太になっておきましょう。

キャリア形成支援委員長 香川 直己



7月にZoomで行われたBINGO OPEN インターンシップ事前研修での挨拶画面



12月にハイフレックスで行われた成果報告会の様子

行事予定

令和3年度 主要行事日程予定表

4月3日(土)	入学式	10月1日(金)～7日(木)	Web履修登録確認・辞退期間
4月5日(月)～9日(金)	新入生・在学生オリエンテーション	10月29日(金)～11月1日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪球技大会
4月5日(月)～11日(日)	Web履修登録期間	10月30日(土)・31日(日)	見学会(第3回)
4月5日(月)～14日(水)	定期健康診断(学生)		
4月12日(月)～16日(金)	遠隔授業ガイダンス等実施期間	11月中旬	教職員健康診断(特定健康診断を含む)
4月19日(月)	前期授業開始	11月14日(日)	指定校推薦型選抜
4月19日(月)～23日(金)	Web履修登録確認・辞退期間	11月16日(火)・17日(水)	2022年度公募推薦型選抜(A日程)
5月15日(土)	開学記念日・学長杯争奪球技大会	12月11日(土)	2022年度公募推薦型選抜(B日程)
5月21日(金)	合同企業説明会(薬学部)	12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部)
5月下旬	教職員健康診断(特定健康診断を含む)	12月22日(水)	冬季休業開始、後期集中講義開始
6月中旬	合同企業説明会(留学生)	1月4日(火)	冬季休業終了
6月26日(土)	見学会(第1回)	1月5日(水)	授業開始
		1月14日(金)	2022年度大学入学共通テスト会場設営
7月17日(土)	体験入学会(第1回)	1月15日(土)・16日(日)	2022年度大学入学共通テスト
		1月19日(水)～25日(火)	最終授業予定日(含む試験)
8月2日(月)～6日(金)	最終授業予定日(含む試験)	1月31日(月)～2月3日(木)	2022年度一般選抜(前期A日程)
8月7日(土)	夏季休業開始		
8月22日(日)	体験入学会(第2回)	2月9日(水)	企業懇談会
8月30日(月)～9月3日(金)	教育懇談会(地方会場)	2月18日(金)	2022年度一般選抜(前期B日程)
		2月21日(月)	業界説明会 (経済学部、人間文化学部、工学部、生命工学部)
9月4日(土)・5日(日)	教育懇談会(本学会場)		
9月11日(土)	見学会(第2回)	3月1日(火)	春季休業開始
9月13日(月)～20日(月)	Web履修登録・変更期間	3月5日(土)	2022年度一般選抜(後期日程)
9月20日(月)	夏季休業終了	3月12日(土)	見学会(第4回目)
9月21日(火)	後期授業開始	3月20日(日)	学位記授与式

【備考】1. 本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月刊予定表に記載されます。
2. 本予定表に記載の主要行事については、予告なく変更する場合があります。

4月の行事予定表

4月3日(土)	新入生オリエンテーション	4月8日(木)	新入生オリエンテーション
4月5日(月)	新入生オリエンテーション		在学生オリエンテーション
	在学生オリエンテーション		定期健康診断【午前:男子/午後:男子】
4月6日(火)	新入生オリエンテーション	4月9日(金)	新入生オリエンテーション
	在学生オリエンテーション		在学生オリエンテーション
	定期健康診断【午前:女子/午後:女子】		定期健康診断【午前:男子/午後:女子】
4月7日(水)	新入生オリエンテーション	4月12日(月)	定期健康診断【午前:男子/午後:女子】
	在学生オリエンテーション	4月13日(火)	定期健康診断【午前:男子/午後:男子】
	定期健康診断【午前:女子/午後:男子】	4月14日(水)	定期健康診断【午前:女子/午後:男子】
		4月19日(月)	前期授業開始
		4月19日(月)～23日(金)	Web履修確認・辞退期間

【備考】本予定表に記載の行事については、予告なく変更する場合があります。

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この学報第168号では、皆さんの先輩の経験談やアドバイスなどを掲載しました。是非目を通していただき、参考にしてください。そして、これからスタートする大学生活を楽しく有意義なものにしていきましょう。なお、学報は年4回(時には号外も)発行する予定です。大学のニュース&トピックスをわかりやすくお届けしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>